

令和元年5月16日
四国電力株式会社

ミャンマー国ヤンゴン市における火力発電事業への参画について

当社は、TTCLパブリックカンパニー^{※1}（以下、「TTCL社」）がミャンマー国ヤンゴン市で運営するガス火力発電事業に中国電力株式会社とともに参画することとし、昨日、TTCL社が保有する事業権の一部を当社と中国電力が取得する株式売買契約を締結しました。当社の出資比率は28.5%であり、当社にとっては、東南アジアで初の火力発電（IPP^{※2}）事業となります。

本件は、経済成長に伴い増加しているミャンマー国の電力需要に対応するため、TTCL社が、出力12万1千kWのアーロン火力発電所（ガスコンバインドサイクル方式）を建設し、2013年から運転を続けているもので、ミャンマー発電公社（EPGE^{※3}）に対して2043年までの間、長期売電契約に基づいて電力を供給することになっています。

本件において、当社と中国電力は、これまでに培ってきた火力発電における運転・保守などの技術・ノウハウを活かして事業の効率的・安定的な推進を支援することを通じ、同国における電力の安定供給に貢献してまいります。

また、同国では、経済・社会の発展を支えるため、今後も新規の発電所建設が必要とされる状況にあり、当社としては、本件以外にも有望な発電事業の開発・検討に取り組むことで、海外IPP事業の一層の拡大に努めてまいります。

※1 TTCL Public Company Limited : タイの大手エンジニアリング会社

※2 IPP : Independent Power Producer 独立系発電事業者、卸供給事業者
当社としては、海外のIPP事業に参画するのは、本件で9件目となる。

※3 EPGE : Electric Power Generation Enterprise

[別紙] ミャンマー国ヤンゴン市における火力発電事業の概要

以上

◇ミャンマー国ヤンゴン市における火力発電事業の概要

1. プロジェクト概要

発 電 所 名	アーロン火力発電所
所 在 地	ミャンマー国ヤンゴン市 (ヤンゴン港近傍)
出 力	12万1千kW
出 資 者 () 内は出資比率	当社 (28.5%) 中国電力株式会社 (28.5%) TTCLパブリックカンパニー (43%)
発 電 方 式	ガスコンバインドサイクル発電 (ガスタービン: GE社製)
売 電 先	ミャンマー発電公社 (EPGE)
燃 料 供 給	ミャンマー発電公社から、国産ガスの供給を受ける
事 業 期 間	2013年～2043年 (30年間)

2. 発電所位置図

